

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年11月5日 VOL. 75

平成30年度 この指止まれ大作戦（認知症の人と家族の支援を一緒に考える会）を開催

平成30年10月23日（火）、藤枝総合運動公園会議室を会場に、「この指止まれ大作戦(認知症の人と家族の支援を一緒に考える会)」を開催し、81人が参加しました。

本市の「第7次ふじえだ介護・福祉プラン21（平成30～32年度の計画）」の認知症施策においては、認知症の人と家族の声を施策に反映させることを基本としています。

この会は、ケアマネジャー68人が認知症の人を介護しているご家族のこころの声を聴き、本人や家族の声から望むケアの実現を目的に開催しました。



ご家族が話しやすいように小グループに分かれ、その後、ケアマネジャーがKJ法を用いて、家族の声を整理し、ケアマネジャー・介護施設・地域・さまざまな認知症の人と家族を取り巻く環境の中で、『誰がどのような支援ができるのか？』考えました。

【参加者したケアマネジャーの声】

- ・認知症の人が住みやすいように、地域への普及啓発の必要性を感じたので、取り組んでいきたい
- ・ケアプランありきではない支援の必要性を感じた

【参加者したご家族の声】

- ・たくさん話すことができ、すっきりした。知ってもらえたと感じた。言葉にすることで自分の中でも問題点だったことが見えてきた。
- ・生きてきた人生がそれぞれ違うので、それぞれが大切にしてきたことを大事にしてケアしてもらいたい。



家族の声から ～みなさん介護マークを知ってください～

藤枝発



【認知症の妻を介護する夫の声】

妻の下着を買いに行くとき、介護マークを首にかけて行きます。それでも、変な目で見られることがあり悲しい。商店等にも知ってもらうため、ポスターを貼らせてもらえたらなあ。

介護マークはほっと会(認知症の人と家族の会静岡県支部藤枝分会)の家族の声から誕生しました。

きっかけは男性介護者の声

・公共トイレに介護者が付き添う際・・・周囲から冷ややかな目『介護中ということを理解してもらえたら』という気持ちから誕生しました。介護マークの普及を積極的に進めていきます！

介護福祉課・岡部支所
安心すこやかセンターで
配布しています。

健康福祉部 地域包括ケア推進課

TEL 054-643-3225 E-mail chiikicare@city.fujieda.lg.jp